

(プログラム) ※申込状況により、プログラムに変更がある場合がございます。ご了承ください。

(1日目)

時間	8月26日(木)
9:30 }	<b>講演①「公立大学の歴史と課題」</b> 大阪市立大学 矢野 裕俊 教授
10:45	わが国における近年の高等教育政策の特徴と、高等教育体制において今日の公立大学が果たす役割および直面する課題について、ご講演をいただきます。 (参考図書:『公立大学協会 60周年記念誌 地域とともにつくる公立大学』)
11:00 }	<b>グループセッション①</b> 簡単な自己紹介と講演①の内容についての感想や公立大学職員として日ごろ感じていることについて、自由に話し合ってください(各グループのファシリテーターがリードします)。
12:10	休憩
13:00 }	<b>事例紹介</b> ①大学職員の魅力ー県庁職員からプロパー職員へー 岩手県立大学 関屋 一博 教務グループ主査 ②公立大学に求められることー私学職員からプロパー職員へー 札幌市立大学 上田 理子 地域連携課長 ③公立大学法人における固有職員採用の現状と課題 公立大学協会 中田 晃 事務局長
14:00	公立大学プロパー職員として勤務されている2人の方から、現職に就くまでの経緯や公立大学職員観(像)について語っていただき、協会事務局から公立大学法人の職場の課題について情報提供します。
14:15 }	<b>グループセッション②</b> <b>「公立大学の課題について」</b>
17:00	グループセッション①に続いて、事例発表を聞いて感じたこと、所属大学での業務やその他の場面で課題だと思っていることについてディスカッションをしていただき、その結果を翌日の全体セッションで発表していただきます。
17:15 }	<b>情報交換会(名刺交換、情報共有)</b>
20:00	

(2日目)

時間	8月27日(金)
9:00 }	<b>講演②「地域の中の大学」</b> 下関市立大学 川野 祐二 准教授
10:00	地方における大学の公共性及び地域のサポーターとしての大学の役割について、公立大学の現状に留意しつつご講演いただきます。
10:15 }	<b>全体セッション</b> <b>「今後の公立大学職員の交流・研鑽の方向性」(グループセッション①②から)</b>
12:00	1日目のグループセッションの報告をグループごとに行っていただきます。 ① ファシリテーターから報告 ② グループメンバーによる報告と討論
	解散